

2021年7月20日

各位

SHINSEI SUSTAINABLE  
IMPACT ASSESSMENT
 会社名 株式会社新生銀行  
 代表者名 代表取締役社長 工藤 英之  
 (コード番号 : 8303 東証第一部)


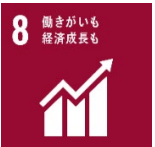


## 【サステナブルインパクト】株式会社アウトソーシングに対する「サステナビリティ・リンク・ローン」の実行について ～社会的課題の解決に着目したサステナビリティ目標の設定～

当行は、株式会社アウトソーシング(東京都千代田区、代表取締役会長兼社長 土井春彦)に対し、シンジケーション形式のサステナビリティ・リンク・ローン(以下、「本ローン」)を組成し、本日付で金銭消費貸借契約を締結しました。本件は、当行他計17社による協調融資です。

サステナビリティ・リンク・ローンは、ローン・マーケット・アソシエーション等が定めた「サステナビリティ・リンク・ローン原則」※に準拠したローンで、お客さまの全社的なサステナビリティ経営方針、およびビジネス戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンス目標(以下、「SPTs」)を設定し、その達成状況と金利等の貸付条件を連動させ、SPTs 達成への動機付けを行うことでお客さまのサステナビリティ経営を促進し、企業価値の向上と環境面・社会面で持続可能な経済活動の実現を目指す融資商品です。

アウトソーシンググループは、製造派遣や IT 関連分野を中心とした技術者派遣、在留外国人向け就労支援サービスなどを手掛ける人材サービス企業です。「労働格差をなくし、生き甲斐が持てる職場を創出することで、世界の人々の人生を豊かにする。」を経営理念に掲げ、「世界の様々な人々の「就業機会」と「教育機会」の創造を事業を通じて実現」というサステナビリティ方針を実践しています。2021年2月には「アウトソーシンググループ SDGs 宣言」を策定し、自社の重要課題(マテリアリティ)として、「就業機会の提供」や「質の高い教育の提供」等を特定し、これらに紐づく2030年目標を設定しています。本ローンでは、これらの経営目標と整合した SPTs を設定することで、アウトソーシンググループの取り組みを金融面から支援していきます。

### ＜本ローンの概要＞

組成額	合計 150 億円
アレンジャー行	新生銀行
参加金融機関	青森銀行、香川銀行、佐賀銀行、山陰合同銀行、三十三銀行、滋賀銀行、島根銀行、新生銀行、スルガ銀行、第一生命保険、千葉銀行、鳥取銀行、肥後銀行、百十四銀行、山形銀行、山梨中央銀行、りそな銀行(五十音順)
期間	トランシエ A:2年、トランシエ B:5年
資金使途	事業資金
SPTs の概要	1. 在留外国人の就労サポート人数の増加 2. 労働集約セクターからスペシャリスト人材(エンジニアを対象とするIT人材や理工系人材)へのキャリアチェンジを実現する人数の増加 3. キャリアアップに向けた質の高い教育プログラム等の利用人数の増加 4. 産業生産性を改善させるスペシャリスト人材の育成数の増加
SPTs の達成が改善に貢献すると期待される社会課題	日本では少子高齢化とサービス産業化の進展により労働力の需給ギャップが大きくなっており、新たな在留資格制度を設けて在留外国人の受け入れを推進していること、新しいスキルを身に付けた IT 人材や付加価値の高い理工系人材の育成が重要視されていること、「学び直し」が重視されリカレント教育が推進されていること、政府の方針で働き方改革や人材への投資による生産性の向上が重点課題とされていること等から、設定された指標は日本の社会課題認識や方針とも整合しており、SPTs の達成はこれらに貢献することが期待される。
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>4 質の高い教育を みんなに</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>8 働きがいも 経済成長も</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>9 産業と技術革新の 基盤をつくろう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>10 人や国の不平等 をなくそう</p> </div> </div>

当行は、持続可能性や ESG/SDGs の観点に、環境・社会・経済など社会全般に対して正のインパクトをもたらすことを目的とする社会的インパクトの概念を融合させた「サステナブルインパクト」の取り組みを推進しています。今後も、サステナビリティ・リンク・ローンの提供等を通じて、お客さまとサステナビリティについて継続的に対話を行うことで、サステナブルインパクトをもたらす取り組みをサポートし、お客さまの企業価値の向上と持続可能な社会の形成に貢献していきます。

※ ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)、アジア太平洋ローン・マーケット・アソシエーション(APLMA)、ローン・シンジケーション・アンド・トレーディング・アソシエーション(LSTA)により公表されているものです。本ローンの、SPTs の妥当性を含む「サステナビリティ・リンク・ローン原則」(2021 年 5 月改定版)への適合性については、行内で一定の独立性を確保したサステナブルインパクト評価室が確認を行っています。詳細は以下 URL をご覧ください。

[https://www.shinseibank.com/institutional/sustainable\\_finance/pdf/psll210707.pdf](https://www.shinseibank.com/institutional/sustainable_finance/pdf/psll210707.pdf)

以上



お問い合わせ先  
新生銀行 グループIR・広報部  
下村、風間、伊佐  
[Shinsei\\_PR@shinseibank.com](mailto:Shinsei_PR@shinseibank.com)